

We Love Suita Osaka みうらネット

2022年新春号
大阪府議会議員 三浦とし子
〒564-0041吹田市泉町5-15-22
TEL: 06-6190-6877
FAX: 06-6190-6511
ホームページ: <http://miura-fuji.jp/>
E-mail: miura@komei-fu.com

三浦とし子の府議会レポート 12月7日定例府議会で一般質問

府立高校におけるヤングケアラー支援にむけ、学校現場の体制構築を。

学校において、適切な支援に繋げるため、ヤングケアラーを早期に発見する力を向上させるとともに相談体制を充実させる。全教職員に対し、研修の実施を検討している。きめ細やかな相談支援等を担うスクールソーシャルワーカーの充実や生徒の学びをサポートする体制づくり等についても検討を進めている。



★大阪府の府立全日制高校におけるヤングケアラーに関する調査状況では回答者約1.9万人のうち、1,096人(5.7%)が世話をしている家族がいると回答。昨年度の国調査(4.1%)に比べ、1.6ポイント高い調査結果です。

その他の質問項目

- ヤングケアラー支援に係るコーディネーターの育成等
- 健都におけるコーディネート機能構築の状況について
- 府立高校における医療的ケア児の支援等について

インクルーシブな教育の構築へ、高校と支援学校の併設を。

知的障がい等のある子どもたちが増加する中、高まる支援教育ニーズを踏まえ、更なる多様な学びの場の整備が必要。「ともに学び、ともに育つ」教育の方策のひとつとして、より教育効果の期待できる「高校と支援学校の併設」の在り方について、検討を行っていく。

社会的擁護を必要とする子どもたちへアドボカシー制度の導入を。

第三者である「アドボケイト」が子どもの声を聴き意見表明を支援することは、子どもたちの権利擁護の観点から重要である。府として、今年度実施しているモデル事業を検証しながら、アドボカシー制度に重点を置いた取り組みについて検討を進める。

HPVワクチンに関する情報発信と相談体制の強化を。

子宮頸がん予防となるHPVワクチン接種の積極的勧奨が令和4年4月より再開される。協力医療機関をはじめとした医師会等関係団体や教育庁とも情報共有し、接種に不安を感じる方や、接種後に何らかの症状が生じた方への相談体制を充実させる。

★子宮頸がんは国内で毎年約1万1千人の女性が罹患し、年間約2,800人が亡くなっている。国内ではワクチンは2009年に承認され、定期接種となったが、広範囲の痛みや多様な症状が報告され、積極的勧奨は中断されてきた。今年11月、国の検討部会で有効性を示すデータが集積されている一方、慢性疲労等、接種後に生じた多様な症状との因果関係を示すエビデンスは確認できなかったなどから、ワクチンの積極的勧奨の再開が了承された。

健都などライフサイエンス産業で大阪経済の活性化を。

創薬の彩都、健康と医療の健都、再生医療の中之島の3拠点に、中核となる研究機関の誘致、研究機関と繋がる企業の集積を進め、画期的な知見や革新的技術が生み出されるよう取り組んでいる。産学官の連携でイノベーションと起業を促すことにより、リーディング産業化を目指す。



■健都イノベーションパークでは、アライアンス棟の完成が間近。令和4年、国立健康・栄養研究所が移転

コロナ禍での就職活動を応援する 特別相談窓口を開設しています

コロナ禍での就職活動に不安を感じている皆さまが、気軽にご相談頂けるよう、相談窓口を開設。ご相談内容に応じ、OSAKAしごとフィールドのカウンセリングや研修・セミナーなどで就職を支援します。

OSAKAしごとフィールド

電話相談 TEL:06-6232-8580(平日9:00～18:00)

ウェブ相談、チャット相談(24時間予約可能)もあります。

『にであう』-nideau- を検索ください。



感染予防対策にご協力を。



みんなで予防対策

- マスクの着用 鼻出しマスク・あごマスクは避け外側を触らずにひもを持って着脱しましょう。
- 手洗い・手指消毒 食事の前後や外出から帰宅時など、こまめに手洗い・手指消毒を。
- こまめな換気 一方向の窓を少し開けて常時換気をすることで、室温変化を抑えながら喚起を行うことができます。室温18℃以上、湿度40%が目安です。
- おしゃべりは、マスクをつけて 飛沫感染を防ぐため、食事中であっても会話の際はマスクを着用しましょう。